

読む

女性起業家の調査研究をしていると、「同じ立場の仲間が少なく、相談相手がない」という切実な声が聞かれます。男性の場合、同級生や知人が行政・民間を問わず各ジャンルの責任ある立場にいます。何かあれば電話一本で情報収集でき、相談相手も紹介してもらえます。しかし、女性の場合、社会における友人や知人の構成が男性とはかなり違ってきます。女性の役職者は少なく、経営者、さらに起業家となるとますます希少です。

その女性起業家(希望者

ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

女性起業家の交流の場

含む)が、男性が作り上げたビジネス社会に、女性ならではの思考や社会環境で参入するには多くの課題があります。例えば、女性は男性と成功の目標が大きく違います。男性は売り上げなどの明確な数字目標を立て、その数字を絶えず大きくしていくことが重要です。女性もいいんじゃない?」

男「それじゃ、大きくできないうよ」

女「お客様の喜ぶ顔が見られればいいの」

男「……」

——とまってしまいました。ほかに、女性話を聞いてもらって「共感」していただくことも、起業調査や講演

また、広域で勉強会や交流会、調査研究などの活動をする女性起業家交流会(5月26日には、北陸3県の女性起業家(希望者含む)100人が集う「女性起業家お悩み解消・交流会 in HOKURIKU」を金沢で開催することになりました。

こうした交流の場を通じ、地域に根付いた、育児、家事、介護との両立もできる「生活

性の場合、数字目標やそれを大きくすることよりも、お客様の喜びや自分自身の感性、充実感を大切にしていきます。従って、男性に商売の相談をするとき——

女「もっと商品を知ってもらいたいんだけど」

男「チラシを作ってDMを出し、接待もしないと!」

女「そこまでやらなくていいんじゃない?」

男「……」

——とまってしまいました。ほかに、女性話を聞いてもらって「共感」していただくことも、起業調査や講演

で伺った先で、「せっかくだから、交流会を作りませんか?」と働きかけるようになっています。その結果、昨年は小松商工会議所の創業塾「花火の会」や、金沢市女性センターの女性のための起業支援セミナー受講者による「COIORS」が誕生しました。

「いつかは起業!」と思っている方も、既に起業されている方も、同じ立場の女性が集う女性起業家交流会に参加し、ともに切磋琢磨して行きましよう!